

川口信用金庫の環境への取組みについて

【環境方針】

＜基本理念＞

川口信用金庫は「堅実公正な経営に徹し、地域社会の繁栄に貢献する」を経営の基本とし、協同組織による地域金融機関としての社会的使命と公共的使命を自覚し、全役職員が一丸となって地域の発展と環境保全に積極的に取り組みます。

＜基本方針＞

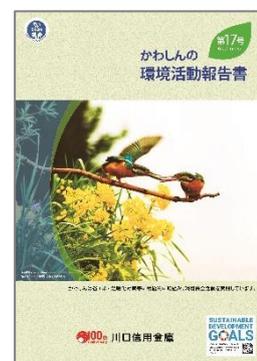
- ①当金庫が行う事業活動が、環境に影響を及ぼす要因を的確にとらえ、技術的・経済的に可能な範囲で環境目的・目標を定めるとともに、定期的或いは諸条件の変化に対応し適宜レビューを行い、継続的に改善し、環境汚染の予防に取り組みます。
- ②上記事業活動が環境に影響を及ぼす要因の中で、特に、地域社会への貢献、中小企業経営再建支援、および福祉・環境を大切にする真の地元金融機関を目指した活動に重点を置き、地域社会との連携を強化しつつ環境保全に取り組みます。
- ③環境に関連する適用可能な法的要求事項及び業界行動指針等、その他の要求事項を順守します。
- ④一人ひとりが環境問題に対する認識を深め、環境マネジメントシステムの効果をあげる為、この環境方針を全役職員、又は当金庫のために働く全ての人に周知徹底を図ります。
- ⑤この環境方針を金庫内外に広く公開します。

【環境活動報告書の定期的発行】

当金庫における環境問題への様々な取組みを地域の企業や皆様に理解して頂くために、平成 19 年 10 月の第 1 号より毎年発行しております。

◎第 1 号から第 18 号まで当金庫のホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

<https://www.shinkin.co.jp/ksb/>



【環境保全への取組み】

- ① 新築建替えした本店の他に一部の支店では消費電力が少ない LED 照明を採用しております。それ以外の支店においては、省エネタイプの蛍光灯、高効率反射板「レフボ」を採用しておりましたが、LED 照明への切替工事を進めて、令和 6 年 8 月に最後の切替工事が完了し、全店 LED 照明化となりました。
- ② CO₂排出削減として、営業車の一部をエコカー（ハイブリット車）に入れ替えし（43 台導入済み）、「ふんわりアクセル e スタート」の励行等エコドライブを実践しています。
- ③ 全店で毎年発生する廃棄文書は焼却せず、セキュリティを十分に確保した上で溶解処理し、トイレトーパーに再生しています。
- ④ 廃棄物の分別を徹底し、排出量の削減とリサイクルを推進しています。

【環境配慮型金融商品】

①環境クリーン定期預金

広く地域の住民に地球温暖化の危機や地域社会を取り巻く河川や緑の再生を強く訴え、環境の大切さを啓蒙することを目的とし、平成19年7月より取扱いを開始、以来令和5年12月までに26回の募集をし、販売総額も2,015億円に達しております。

また、募集した定期預金残高の一定割合相当額を当金庫が社会貢献活動の一環として、埼玉県へ環境保全活動に役立てていただくよう寄附しています。(第1回から第26回までの寄附総額5,450万円)



②カーライフプラン

- ・電気自動車等(新車・中古車)購入
- ・電気自動車用充電設備(パーツ・オプション等)の購入・設置

③環境や福祉に配慮したリフォームローン「一家団欒」

- ・太陽光発電・利用設備の購入・設置・修繕
- ・エコ仕様設備の購入・設置・修繕
- ・バリアフリーリフォーム等

④SDGsサポートローン「GOALs」

- ・埼玉県SDGsパートナー制度に登録した方または登録申請した方を対象に金利を優遇した運転資金・設備資金(埼玉県内4金庫合同企画)

⑤ その他

- ・設備投資促進資金(県制度融資)・公害防止施設・快適な生活環境の創造・地球温暖化対策等

【かわしん環境目標】

環境データ測定監視項目(有害な環境側面)の推進として、「電力の削減」「廃棄物の削減」「紙の使用・排出削減」の3項目について、27年度から平成21年度を基準とした削減率を掲げ、月々の実績を該当部署に半期ごとに開示して実態を把握させ、改善を図っていくなどして目標達成に邁進しています。

【「Fun to Share」に参加しています】

政府がこれまで進めてきた地球温暖化防止国民運動「チャレンジ25キャンペーン」が、気候変動キャンペーン「Fun to Share」に生まれ変わりました。かわしんはこの運動に当初から参加しており、引き続き参画して低炭素社会の実現を目指します。

「Fun to Share」はさまざまな地域や団体、企業が生み出す技術や取り組みなどの最新の知恵を楽しくシェアしながら、低炭素社会をつくろうという合言葉であり、シェアした知恵を活用して、低炭素アクションを実践します。

【「クール・ビズ」「ウォームビズ」の実施】

平成17年度より毎年実施しており、クール・ビズ期間中においては、設定温度も28度以上でノー上着、ノーネクタイの軽装着による営業活動、ウォームビズ期間においては、過度に暖房機器に頼らず設定温度を20度にするなど冷暖房の使用を控え、エネルギーの削減に努力しています。

【職員の名刺を CaMISHELL 製造法で作成】

当金庫職員の名刺の一部を卵殻10～50%使用したパルプ代替利用の CaMISHELL 製造法で作成し、環境に配慮した取組みを行っております。今後も様々な取組みを通じて、脱プラスチック、古紙、木材パルプの使用削減により、CO₂の減少に努めてまいります。

